

## 平成21年度 PRTR法に基づく届出状況(平成20年度データ)について

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(以下、「PRTR法」という。)では、業種や従業員数等一定の要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、その結果について自治体を經由し国へ届出ることが義務付けられました。

平成17年度までは岡山県への届出でしたが、平成18年度の届出からは倉敷市内の事業所については、倉敷市への届出となりました。

本市では、平成21年度は194事業所(平成20年度は205事業所)から届出がありました。

### 1. 前年度と比較した届出状況について

平成21年度、本市の事業所からは194件の届出があり、排出量の合計は1,940,539kg/年、事業所外への移動量の合計は3,625,702kg/年でした。前年度と比較すると排出量、移動量とも減少しています。

表1. 前年度届出との比較

把握年度	H17	H18	H19	H20	前年比
届出事業所数(件)	202	202	205	194	- 11
届出物質数(物質)	121	122	122	120	- 2
排出量合計(kg/年)	2,767,676	2,485,597	2,356,289	1,940,539	- 415,750
移動量合計(kg/年)	6,601,288	5,443,920	4,576,215	3,625,702	- 950,513
排出量:ダイオキシン類 (mg-TEQ/年)	11,157	10,830	11,433	6,093	- 5,340
移動量:ダイオキシン類 (mg-TEQ/年)	20,140	25,721	22,275	10,456	- 11,819

排出量・移動量は少数第1位を四捨五入したものを集計している。集計方法により、端数が異なる場合がある。

## 2. 事業所からの届出状況について

市内の23業種194事業所から届出があり、業種別では燃料小売業の90件が最も多く、次いで、製造業の76件の順となっています。業種別の届出件数、排出量・移動量の内訳は表2-1に示すとおりです。排出量、移動量ともに製造業が全体の95%以上を占めています。

表2-1 業種別届出状況

業種	届出数	排出量合計 (kg/年)	移動量合計 (kg/年)	DXN類 排出量合計 (mg-TEQ/年)	DXN類 移動量合計 (mg-TEQ/年)
製造業	76	1,895,330	3,598,102	5,882	296
電気業	2	2,500	11,600		
下水道業	5	7,631	0	0	0
倉庫業	2	13,300	0		
燃料小売業	90	6,715	0		
自動車整備業	10	10,200	16,000		
一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	7	49	0	198	8,560
産業廃棄物処分業	2	4,814	0	13	1,600
合計	194	1,940,539	3,625,702	6,093	10,456

DXN類:ダイオキシン類

### (1) 製造業のうち排出量が多かった業種

環境への排出量が多かった業種は表2-2のとおりです。上位5業種の合計は1,436,677kg/年で、全排出量1,940,539kg/年の70%以上を占めていました。

表2-2 製造業における環境への排出状況

業種コード	業種	排出量(kg/年)	割合(%)
3140	船舶製造・修理業, 船用機関製造業	413,630	21.3
2300	ゴム製品製造業	292,780	15.1
2000	化学工業	264,247	13.6
2200	プラスチック製品製造業	237,110	12.2
2800	金属製品製造業	228,910	11.8
	合計	1,436,677	74.0

(2) 製造業のうち、移動量が多かった業種

事業場外への移動量が多かった業種は表2 - 3のとおりです。化学工業と鉄鋼業が全移動量3,625,702 kg/年の90%以上を占めており、上位5業種の合計は3,517,428kg/年で、全移動量の95%以上を占めています。

表2 - 3 製造業における事業場外への移動状況

	業種コード 業種	移動量(kg/年)	割合(%)
	2600 鉄鋼業	1,799,410	49.6
	2000 化学工業	1,608,320	44.4
	2200 プラスチック製品製造業	47,486	1.3
	3100 輸送用機械器具製造業	32,674	0.9
	2300 ゴム製品製造業	29,538	0.8
	合 計	3,517,428	97.0

3. 届出された排出量及び移動量の状況について

排出量、移動量の合計は、5,566,240kg/年で、排出先又は移動先別の状況は、表3 - 1のとおりです。排出量は1,940,539kg/年(34.9%)、移動量は4,547,394kg/年(65.1%)となっており、廃棄物として事業場外への移動、大気への排出の割合が高くなっています。

表3 - 1 排出先別又は移動先別の内訳

排出先又は移動先の区分		量 (kg/年)	割合 (%)	DXN類 (mg-TEQ/年)	割合 (%)
環境への排出 (1,940,539kg/年)	大気	1,854,723	33.3	6,070	36.7
	公共用水域	85,816	1.5	23	0.001
	土壌	0	0	0	0
	事業場における埋立処分	0	0	0	0
事業場外への移動 (3,625,702kg/年)	下水道	0	0	0	0
	廃棄物	3,625,702	65.1	10,456	63.2

量については、小数第1位を四捨五入

(1) 環境への排出量が多かった物質

環境への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 2のとおり 1,711,149kg/年であり、全排出量 1,940,539kg/年の85%以上を占めていました。

表3 - 2 物質別の環境への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	キシレン	712,745	36.7	溶剤等
	トルエン	597,638	30.8	溶剤等
	エチルベンゼン	302,712	15.6	合成原料, 溶剤等
	スチレン	59,280	3.1	合成原料等
	ふっ化水素及びその水溶性塩	38,775	2.0	エッチング剤等
	合計	1,711,149	88.2	

量については、小数第1位を四捨五入

(2) 大気への排出量が多かった物質

大気への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 3のとおり 1,705,911kg/年であり、大気への全排出量 1,854,723kg/年の90%以上を占めていました。

表3 - 3 物質別の大気への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	キシレン	711,434	38.4	溶剤等
	トルエン	597,067	32.2	溶剤等
	エチルベンゼン	302,544	16.3	合成原料, 溶剤等
	スチレン	59,266	3.2	合成原料等
	H C F C - 141b	35,600	1.9	溶剤、洗浄剤等
	合計	1,705,911	92.0	

量については、小数第1位を四捨五入

(3) 公共用水域への排出量が多かった物質

公共用水域への排出量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 4のとおり 75,794kg/年であり、

公共用水域への全排出量 85,816kg/年の85%以上を占めていました。

表3 - 4 物質別の公共用水域への排出量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	ふっ化水素及びその水溶性塩	38,418	44.8	エッチング剤等
	ほう素及びその化合物	13,881	16.2	ガラス繊維の原料等
	マンガン及びその化合物	11,720	13.7	合金の原料等
	モリブデン及びその化合物	7,700	9.0	合金の原料等
	亜鉛の水溶性化合物	4,076	4.7	塗料・めっき材等
	合 計	75,794	88.3	

量については、小数第1位を四捨五入

(4) 事業場外への移動量が多かった物質

事業場外への移動量が多かった上位5物質の合計は、表3 - 5のとおり 2,618,799kg/年であり、全移動量 3,625,702kg/年の70%以上を占めていました。なお、移動量は下水道への移動はなく、全て廃棄物としての移動でした。

表3 - 5 物質別の事業場外への移動量

		量(kg/年)	割合(%)	主な用途
	マンガン及びその化合物	1,474,260	40.7	合金の原料等
	トルエン	384,592	10.6	溶剤等
	クロロベンゼン	360,000	9.9	合成原料、溶剤等
	鉛及びその化合物	240,000	6.6	塗料・めっき材等
	キシレン	159,947	4.4	溶剤等
	合 計	2,618,799	72.2	

量については、小数第1位を四捨五入

(4) 特定第一種指定化学物質の排出量及び移動量の状況

第一種指定化学物質のうち、人に対する発がん性があると評価されている物質は特定第一種指定化学物質に指定され、現在12物質があります。届出があった物質は9物質で、表3 - 6のとおりです。排出量の合計は 17,328kg/年で全体の排出量の 0.9%、移動量の合計は

130,338kg/年で全体の移動量の3.6%でした。

表3 - 6 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

物質名	届出数	排出量合計 (kg/年)	移動量合計 (kg/年)	排出・移動量合計 (kg/年)
石綿	4	0	23,400	23,400
エチレンオキシド	2	90	0	90
カドミウム及びその化合物	10	0	0	0
六価クロム化合物	12	3	590	593
塩化ビニル	1	3,800	0	3,800
ニッケル化合物	9	1,070	18,548	19,618
砒素及びその無機化合物	10	8	0	8
ベンゼン	110	12,357	87,800	100,157
合 計		17,328	130,338	147,666

量については、小数第1位を四捨五入

物質名	届出数	排出量合計 (mg-TEQ/年)	移動量合計 (mg-TEQ/年)	排出・移動量合計 (mg-TEQ/年)
ダイオキシン類	28	6,093	10,456	16,549

## その他

### (1) 数値の取扱上の留意点

事業場が届出を行った排出量、移動量は、PRTR 法施行規則で定められた方法のうち事業場が適当と判断した方法により算出したもので、必ずしも実測値に基づくものではなく、推測値もあります。

### (2) 開示請求への対応について

事業所ごとの個別の届出データについては、国(環境省及び経済産業省)のホームページ上で公表されています。また国に対して開示請求を行なうこともできます。